

# 都市再生整備計画(第4回変更)

木<sup>き</sup>曽<sup>そ</sup>川<sup>がわ</sup>左<sup>さ</sup>岸<sup>が</sup>江<sup>ん</sup>南<sup>こう</sup>北<sup>なん</sup>部<sup>ほく</sup>地<sup>ぶ</sup>区

愛知県 江<sup>こう</sup>南<sup>なん</sup>市<sup>し</sup>

平成22年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	江南市	地区名	木曾川左岸江南北部地区	面積	985 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

### 目標

「花」と「緑」をキーワードとし、花と緑の散策道として遊歩道・サイクリングロードの整備、花いっぱい運動の積極的な推進など様々な事業を展開し、市民一人ひとりが「花」に関心を持ち、地域住民が花を楽しみ、花に親しみ、笑顔と活力が満ちあふれることで、多くの観光客が江南市を訪れたいようなまちづくりを進め、「花いっぱい 元気いっぱいのまち江南」を目指す。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 本市は濃尾平野の北部、清流木曾川の南岸に位置し、地形は木曾川左岸扇状地で全般に平坦で、木曾川の恵みを受けた肥沃な扇状地であり、温暖な気候・風土と相まって、暮らしに最適な自然環境に恵まれている。また、古くから織物業が盛んであり、高級カーテン地・室内装飾織物では全国的にも大きなシェアを誇っている。
- 中部圏の中心都市である名古屋から20km圏内にあること、東名高速道路の小牧インターチェンジや東海北陸自動車道の一宮木曾川インターチェンジにも近いこと、名鉄犬山線の江南・布袋の両駅を有するなど、地理的条件や交通の便にも恵まれており、人口も緩やかではあるが増加傾向にあり、都市化・住宅地化が進んでいる。
- 少子高齢化や地方財政の硬直化といった社会経済情勢の急激な変化は、本市にも大きく影響しており、中心市街地の空洞化など地域の経済に暗い影を落とし、今後も楽観できない状況にある。
- 「すいとびあ江南」を観光拠点として各種のイベントを開催すると共に、蘇南公園、江南緑地公園の整備を行ってきた。また、曼陀羅寺公園や音楽寺での花に関するイベントや、市内全域を対象とした花いっぱい運動事業や花いっぱいコンクールを展開しているが、互いの関連性が薄く盛り上がり欠ける状況である。
- 国営木曾三川公園江南花卉園芸公園が平成19年に開園が予定されており、その江南花卉園芸公園との関わりなどを調査研究するため平成14年度から3年間ワークショップを開催した結果、平成16年12月には江南国営公園友の会が発足し、開園への市民レベルでの機運も盛り上がっている現状である。

#### 課題

- 毎年、曼陀羅寺公園において藤まつりを始めとする様々なイベントが催されるが、その観光客や参加者は減少傾向にあり、イベントがない時期には、賑わいに欠けるような状況にあるため、常に活気あるまちづくりが望まれている。
- 国営木曾三川公園江南花卉園芸公園が平成19年に開園予定であり、また、平成18年秋には、現在工事中の小網橋も新たに開通予定である。こうした物理的な環境整備をひとつの契機として、国営木曾三川公園三派川地区センター、河川環境楽園と江南花卉園芸公園、すいとびあ江南などの有機的融合を図る必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 水と緑のネットワークにおける北部拠点の充実を図り、中部拠点や南部拠点と結びネットワーク化を推進する。緑については、市民参加による花いっぱい運動や花いっぱいコンクールを行ってきており、今後、さらに花に関する様々なイベントを展開し、緑化運動を推進する。(出典:第4次江南市総合計画)
- 木曾川左岸の河川敷周辺等にスポーツ施設、レクリエーション施設があり、すいとびあ江南をその中心的な施設として位置付け、国営木曾三川公園江南拠点の早期整備を国へ働きかける。(出展:江南市水と緑のふるさとづくり事業基本計画)
- 地域再生計画「花いっぱい・元気いっぱいのまち 江南」(平成16年12月8日内閣府認定)に基づき、事業展開する。
- 国の計画である「木曾川江南地区水辺プラザ整備計画(平成17年3月31日国土交通省河川局登録)」と「河川防災ステーション整備計画」に連携・調整をとりながら事業を推進する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
来街観光客数	人/年	各種イベント参加人員と江南花卉園芸公園 入場者数	各種イベントと平成19年に開園する江南花卉園芸公園を結び、入場者数の増を図る。	600,000	800,000	平成17年度	平成22年度
公共宿泊施設利用者率	%	宿泊施設「すいとびあ江南」の宿泊年間稼働率	イベントや江南花卉園芸公園、遊歩道・サイクリングロード等の利用者が宿泊予定で一日をゆっくと過ごすことができるようにする。	67	77	平成16年度	平成22年度
花いっぱい運動等活動個所数	個所	花いっぱい運動等市民参加の活動個所	江南花卉園芸公園への市民参加や「花の広場」構想などにより、市民の緑化意識を高め、「花いっぱい運動」等の市民参加活動個所の増加を図る。	8	20	平成17年度	平成22年度

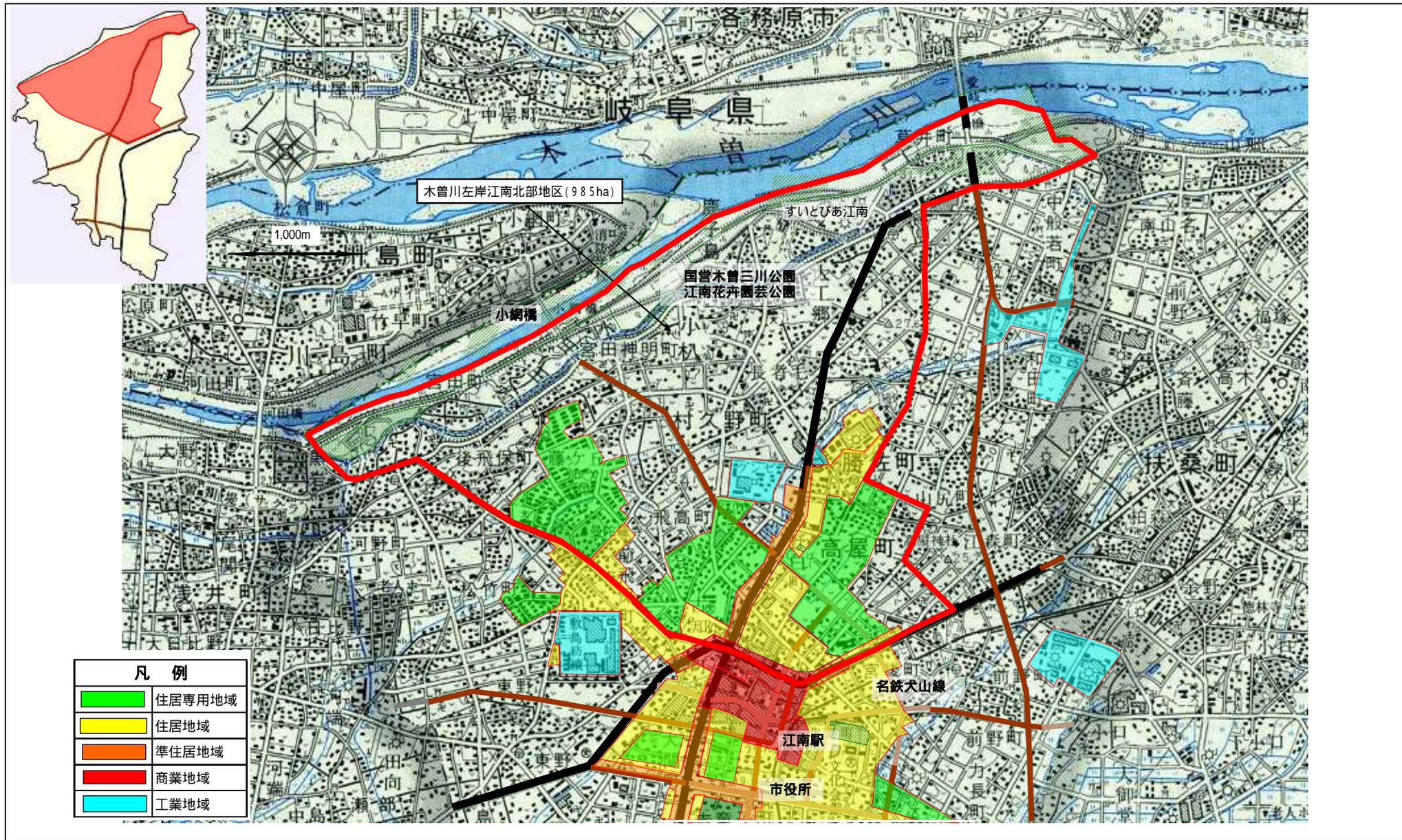
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(木曾川河川敷周辺の一体感の醸成)</b></p> <p>・総合運動公園である蘇南公園や国営木曾三川公園江南花卉園芸公園、宿泊施設を備えたすいとぴあ江南、芝生広場など点在する施設を結び遊歩道・サイクリングロードを整備し、各施設を有機的に結合することにより、この地区全体の一体感の醸成に努める。</p> <p>・遊歩道・サイクリングロードに隣接する一宮市、扶桑町、犬山市と接続させるとともに、国営木曾三川公園三派川地区センターと岐阜県各務原市にある河川環境楽園とのアクセス網も視野に入れるなど、新しい散策の名所として全国に発信し多くの人々が訪れるようにする。</p>	<p>遊歩道・サイクリングロード整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) 花いっぱい運動事業(提案事業/まちづくり活動推進事業)</p>
<p><b>整備方針2(花の名所を整備)</b></p> <p>・藤や菊の曼陀羅寺公園、紫陽花の音楽寺、桜や花菖蒲のすいとぴあ江南等、花の名所を「花の広場」として整備し、朝市や花きの特産品販売、フリーマーケット等を開催することにより、地域の活性化につなげる。特に曼陀羅寺公園については、藤の木の密集や老木化に伴い花の付き具合が悪くなっているため、柵と根に影響する園路整備を行う。</p> <p>・藤まつりや菊まつりなどイベント開催時に、「花の広場」を結び、「花の広場」の連携により地元住民をはじめ多くの観光客等が花をテーマとしたイベントに訪れるようにする。</p> <p>・平成20年度に開院が予定されている新病院の周辺道路を整備して花壇やプランターなどで花を飾り、リハビリなどで散歩する患者やその家族に心のやすらぎを与え、さらに他の公共施設、史跡などと結び、イベントが開催されていない時期でも、地域住民や市外から訪れる人たちの心にする。</p>	<p>曼陀羅寺公園整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)</p> <p>「花の広場」整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) 新病院周辺基盤整備事業(基幹事業/道路・高質空間形成施設) 花いっぱい運動事業(提案事業/まちづくり活動推進事業) 曼陀羅寺公園ステージ屋根設置事業(提案事業/地域創造支援事業) 事業効果分析調査(提案事業/事業活用調査)</p>
<p><b>整備方針3(遊歩道や花壇の整備等、美しい景観の形成に努める。)</b></p> <p>・高屋西町公園を地域再生計画に沿った公園整備を行い、他の施設と関連し花いっぱい運動の推進を図る。</p> <p>・住宅地を流れる高屋小規模排水路を暗渠化し、その上部を緑あふれる空間として整備し、花壇やプランターを設置して美しい景観を創出し、併せて、市民の憩いの場や健康づくりのための散策道として活用できるよう事業の推進を図る。</p> <p>・エリア内に点在する休耕地等において、希望者へ苗の提供や作業等に伴う補助により花を栽培してもらい、美しい景観の形成に努める。</p> <p>・従来から取り組んでいる花いっぱい運動をさらに拡大し、主な施設、公園等の花壇を整備して花を巡りながら区域内を散策できるルートを確立し、一年中花いっぱいのまちづくりを行うとともに、新しい花の名所として市外に発信し、多くの人々が訪れ、まちに賑わいが増すようにする。</p> <p>・エリア内の自然環境の保全及び緑化の推進のため、保全地区に補助をする、また、緑化の推進及び良好な生活環境づくりの推進を図るため、既存のブロック塀等を取壊して生垣を設置した者に補助を行う。</p>	<p>高屋西町公園整備事業(基幹事業/公園) 高屋小規模排水路整備事業(提案事業/地域創造支援事業) 緑化施設整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) 景観形成事業(休耕地活用事業)(提案事業/地域創造支援事業) 花いっぱい運動事業(提案事業/まちづくり活動推進事業) 市民緑化推進事業(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p><b>その他</b></p> <p>木曾川江南地区水辺プラザ整備計画(平成17年3月31日国土交通省河川局登録) 中部地方整備局木曾川上流河川事務所が、地域と連携した川づくりに係る事業として表記の計画が申請されており、この計画が認められれば江南市が行う遊歩道・サイクリングロード整備と併せ、国土交通省により築堤や堤防の緩傾斜化、河川内の整備が行われることとなる。</p> <p>河川防災ステーションなどの整備計画 江南花卉園芸公園の東側に位置する鹿子島地区は防災ステーションの候補地の一つになっており、この地区が認められれば国土交通省が防災拠点として整備した箇所に休憩施設や花壇を設置して、新たな「花の駅」として位置づけることができる。</p>	



都市再生整備計画の区域

<p>きそがわさがんこうなんほくぶ 木曾川左岸江南北部地区(愛知県江南市)</p>	<p>面積 985 ha</p>	<p>区域 宮田町本田島の一部・藤ノ森・泉・四ツ谷の一部・本郷・久保見・河沼の一部・宮東・菟蒲池・中島・生原・新田の一部・後飛保町本郷・出島・薬師・両家・前川の一部・藤ヶ丘の全域・前飛保町寺町・寺前・緑ヶ丘・藤町・飛高町門野・夫見添・栄・古知野町花露の一部・高瀬・桃源の一部・熱田・北屋敷の一部・千丸・小金・宮後町王塚の一部・船渡・西屋敷の一部・上河原の一部・高屋町遠場・花戸・十六田・八幡・大師・本郷・中屋舗・神戸・清水・旭・上本郷の一部・後山の一部・御日塚の一部・西里・大松原・北上の一部・勝佐町西町の一部・慈光堂の一部</p>
---	----------------------	--



# 木曾川左岸江南北部地区(愛知県江南市)整備方針概要図

目標	「花を」キーワードとして、花と緑の散策道として遊歩道・サイクリングロードの整備など様々な事業を展開し、住民一人ひとりが「花」に関心を持ち、地域住民が花を楽しみ、笑顔と活力が満ちあふれることで、多くの観光客が江南市を訪れたいかなるようなまちづくりを進め、「花いっぱい、元気いっぱい」のまち江南を目指す。	代表的な指標	来街観光客数(人/年)	600,000	(平成17年度)	800,000	(22年度)
			公共宿泊施設利用率(%)	67	(平成16年度)	77	(22年度)
			いっぱい運動等活動箇所数(箇所)	8	(平成17年度)	20	(22年度)

